

業種 卸売業、小売業

株式会社久永

〒891-0115 鹿児島市東開町5-11

設立 1946年

資本金 3000万円

従業員数 99名



事業内容 『地域に根ざし、地域と社員が共に成長し、常に

地域に貢献する企業を目指す』という経営理念のもと、現在鹿児島・熊本・宮崎・関東にて事業を展開。事業内容は、①ポジショニングソリューション(測量機サービス、計測・測量機製造等)、②DXソリューション(建築業へのICT技術の導入等)、③ビジネス空間ソリューション(オフィスや医療機関、商業施設に置

く家具の選定及び内装工事、設備工事等)の大きく分けて3つがあります。1919年に建築金物・一般金物類販売業として創業。1946年には、久永度量衡株式会社として法人化。2019年には、創業100周年を迎えました。創業当時の測量業だけでなく、その後も顧客のニーズに合わせて新たな事業を取り入れながら、100年経った現在でも実績を残し続けています。

100年を超える歴史の秘訣は 時代と共に変化し続けられる柔軟な企業風土にありました。

時代とともに変わり続ける

創業100年以上という長い歴史をもつ久永は、一体どのようにして競合に勝ち続けてきたのでしょうか。「もちろん一人ひとりの力は重要ですが、“チーム久永”としての団結力も欠かせない。そして何よりも重要なのは『時代の変化とともに会社も変わっていくこと』ですね」と今回取材を受けてくださった総務部の大橋さんは教えてくださいました。

1919年の創業当初は「はかる」を原点として、竹のものさしを製造していましたが、今では「物(商品)から事(情報、サービス、環境)」の提案型営業に変革を遂げています。「時代が変わると顧客のニーズも変わっていく。先輩たちが築き上げてきた良い所を残しながら新しいことも取り入れ、会社も変わっていく。それが100年以上続く秘訣」と、お話しされる姿が印象的でした。

トラブルをシェアし解決する仕組み

久永では会社全体でチームとして動く仕組みが整っています。社内情報共有のツールがあり、何かトラブルが発生した場合、どのような原因で発生したのか、どう解決したのかなどを一元管理されたシステムです。トラブルが発生した際には、最初にそのシステムを確認し、類似事案があれば、原因や解決方法等を担当者に連絡することが可能です。システム導入以前と比較して、トラブルによってお客様をお待たせする時間を大幅に短縮することが可能になったそうです。

全てのトラブルを報告するわけではなく、社内発生したトラブルの中で今後活かすことができるような事案を厳選して情報共有しているため、より効率的に会社全体でお客様と向きあう仕組みができているなど感じました。



●会議室はととても素敵な家具ばかりでした。すべて久永で取り扱っているそうです。



●お客様とは電話で打ち合わせたり、商品をもって伺いすることもあります。



●トイレもおしゃれで驚きました！

営業を後押しする制度とは？

営業はチーム制を導入しており、3人から4人でひとつの会社を担当します。

その仕組みについて、営業として活躍するビジネスDXグループの山本さんが詳しく話してくださいました。

「チーム制で動くことで、早帰りや有給休暇取得などがしやすくなりました。またチーム制を導入したことで、悩み事などを先輩や後輩に気軽に相談・解決することができるようになったため、不安が軽減され、若手も安心して業務に取り組めるようになりました。」その結果、離職率も以前と比べ減少し、同時に先輩と共に仕事をする中で、若手の成長スピードが格段に上がったそうです。若手の行動力と、ベテランの経験や知識が組み合わせることで、非常に良い体制で業務に取り組んでいるとのこと。

営業に不向きな人なんていない

営業の仕事は行動力のある人が向いていると考えられがちですが、山本さんはそういう考えではないようです。「行動力がありすぎる人は何件も案件をとってくるかもしれないが、計画性がない場合もある。逆に真面目で几帳面な人はミスが少ないかもしれないが行動力がない場合もありますよね。それぞれ良い面と悪い面があり、特別営業に向いている人はいないが、営業に向いていない人もいないんです。ただ、営業をする上で大切なことはあります。それは、話しやすさと嘘をつかないこと。話しにくかったり嘘をついたりすると、お客様からの信用を失いますからね。」また営業に苦手意識を持っている人でも活躍できるような仕組みやサポート体制があることも山本さんのお話からわかりました。

充実した福利厚生

近年、男性の育休取得が話題になっていますが、久永では男性も平均1カ月間の育休取得が可能な制度が整っています。仕事とプライベートの時間をしっかりと分けることができるため、仕事終わりや休日は家族との時間を十分に確保することができます。また、勤務時間は8時半～17時半となっており、朝も8時からしかオフィスが開かないようになっているなど、できるだけ残業をさせないようにする仕組みができています。

〈担当から学生へのコメント〉

就活は、自分自身が何をしたいか向き合う時間なので、広い視野を持って、自分が一番納得できる場所を見つけて下さい。皆さんの力になりたい大人は案外たくさんいるので、周りの大人をたくさん頼るといいですよ。焦らずに自分を信じて頑張ってください。

ビジネスDXグループ 主任 山本 恭輔



～ 取材後の感想 ～



鹿児島大学
くーさん

今回の取材で、自分の中の「営業」に対するイメージが大きく変わりました。どんなことも諦めずに挑戦していきたいと思いました。



鹿児島大学
瑞希

営業は、ノルマがあったりプレッシャーが大きかったりと敬遠していましたが、今回の取材を通して自分でもできるのでは？と思うようになりました。働くことのイメージが変わった取材になりました。企業の方が気さくに話しかけてくださり、私も将来この方のようになりたいたいと思いました。非常に良い経験になりました。



鹿児島大学
かな

老舗企業と聞いていたので堅苦しいイメージをもっていましたが、取材してみると全くその逆であることがわかりました。柔軟性があり、時代と共に変化してきたからこそ、長年続くのだということがよくわかった取材になりました。



鹿児島大学
楓子

久永さんが採用しているチーム制度がとても魅力的に感じました。私は営業に対してマイナスなイメージをもっていましたが、取材を通してチームで連携をとり情報を交換し合えば営業も安心してできると思いました。